

～ 現場の声 ～ 多古中央病院で働く皆さん

デイサービスセンター
伊藤 浩美さん



デイサービスセンターでは、高齢の方が要介護となった場合に、その方の能力に応じた自立のできる日常生活が営めるよう、入浴やリハビリ、健康チェックなどのサービスを提供しています。

時にはつらいこともありますが、利用者と家族、そしてスタッフと共の一つ一つ課題を乗り越えていくことに喜びを感じます。

これからも、地域の皆さんに頼られるデイサービスセンターを目指していきます。

栄養科
内田 春枝さん



栄養科では、入院患者さんとデイサービスの利用者さんへの食事の提供と、管理栄養士による入院および外来での栄養指導を行っています。

病院食は安全とおいしさを基本にしているのですが、気の抜けない毎日ですが、患者さんの笑顔に励まされ、元気をもらっています。

院内では、医師や看護師をはじめとする「栄養サポートチーム」の活動が開始されました。今後も、栄養管理体制の確立を目指して努力していきます。

薬剤科
平山 浩二さん



薬剤科では、薬の調剤や注射薬の供給、医薬品の情報提供など、医師や看護師と連携をとりながら、患者さんに安心していただけるよう業務を進めています。

患者さんから「ありがとう」と感謝の言葉もらった時は薬剤師になって本当に良かったと思います。

今後も、地域の方々が安心して暮らせるよう、地域医療の充実に向けて思いやりの気持ちを持ちながら、職員一同努めていきます。

リハビリテーション科
小林 ちえみさん



けがをしたり病気になると体が思うように動かなくなることがあります。できるだけ元の生活に戻れるよう、本人が望む生活を支えてあげることが私たちの仕事です。

退院して、家族と一緒に喜んでいる姿を見ると、とてもうれしく思います。

これからも、長年地域を支えてきたお年寄りの皆さんが、元気に生き生きと暮らしていけるよう、地域に根ざしたリハビリテーションを展開していきます。

行政、病院、住民が一体となった
地域医療を目指して

長年にわたる地域に根ざした医療活動への功績が認められ、このほど多古中央病院の小久保茂樹院長が読売新聞社主催の『医療功労賞』を受賞しました。

表彰式を終えたばかりの小久保院長に、喜びの声と病院へ赴任されてから現在に至るまでの地域医療に対する思いなどを語っていただきました。



どんなに優れた外科医でも、一人で手術はできません。手術はほとんどの場合、少なくとも医師2名と看護師1名で行い、さらに麻酔医や手術に必要なそのほかの仕事をする看護師が1〜2名必要です。一人の医師のやりうる仕事は、その量と範囲において、しよせん限られています。医師や看護師だけでなく、多くの人々の労働力が集約されて構築されるのです。

このたび、読売医療功労賞という榮譽に浴しましたが、これは多古中央病院の職員をはじめ病院を支えてくれた多くの方々の代わりに私がいただいたものと思っています。

私は、この3月で丸20年勤務することになりましたが、赴任当時は「地域医療」という言葉さえ知らないありさまでした。平成9年4月に院長に就任してから、先進的な地域医療を実践されている全国の病院の先生方に接するようになったことで、わが病院の今後の進むべき方向性について考えるようになりました。当時の副院長や事務長と

協議し、保健、医療、福祉を一体的に行う地域包括医療を実現するために行政側の承認を得て、療養病床をはじめとする西病棟を平成13年に建設しました。

しかし、間もなく医療法の度重なる改正による診療報酬の逡減や新医師臨床研修制度の開始によって、病院経営は冬の時代を迎え、日本全国で経営破綻によって消滅する病院が増えました。当院もご多分に漏れず、医師の減少により病院経営が悪化し、多額の損失を出すことになってしまいました。

こうした事態を受け、平成19年12月に総務省から経営取支の黒字化に向けた経営効率化、病院再編・ネットワーク化、経営状態の見直しを骨子とする「公立病院改革ガイドライン」が提示され、当院も必死の努力で経営改善に努めているところです。

赤字という金銭の視点だけで病院の存続が問われることがあつてはならないと思えます。これからは、行政、病院、地域住民全体で地域医療を支える体制を作らねばならないのではないのでしょうか。

社会・経済状況はどんどん変化していきませんが、医療は社会的なものであり、だからこそ責任も大きいと言えます。混同とした時代ではありませんが、私たちは外的なことに惑わされず、常に医療の原点とは何かを自問しながら、患者に接していかなければならないと考えます。



多古中央病院からのお知らせ

国保多古中央病院ご案内 INFORMATION



★ふれあい看護体験★

ユニフォームを着用して、患者さんの身の回りのお世話をしてみませんか？

とき●5月9日(月)～13日(金)

ところ●多古中央病院

申込み問合せ●4月28日(木)までに

多古中央病院庶務係 宮本☎76-2211

★看護の日イベント★

看護の悩みをご相談ください。血圧や体脂肪も測れます。

とき●5月14日(土) 午前10時～午後3時

ところ●道の駅多古あじさい館

問合せ●多古中央病院主任 大里☎76-2211